サンダイヤ オイルタンク 据付説明書

1. 据付前の注意

・取扱説明書、仕様書、保証書、部品一覧図、送油口取付部品一覧図を参照の上、据付してください。
・このオイルタンクは、火災予防のため以下のような項目について、規制を受けます。
　①据付場所、周囲の空間、周囲の防火対策など
　②防油堤の構造、送油管の要領、基礎の構造など
　③標識、掲示板、消防署への届け出など
・規制の内容は、各地によって異なりますので、最寄りの消防署に確認の上、火災予防条例に従って据付してください。据付工事がはじめての方は、販売店又は、弊社へご相談ください。

2. 特に注意すること

・コンクリート製の防油堤を設置する場合の寸法例を図－1に示します。
既製の「サンダイヤ防油堤」を設置する場合は、最寄りの販売店までお問い合わせください。
・タンクは、防火上安全な場所に据付してください。
・タンクは、地震等の振動により容易に破損、又は転倒しないように、水平で丈夫なコンクリート床面などにアンカーボルトで、正しく固定してください。土砂や砂利の地面に直接据付しないでください。
・タンクは、電気的腐食のおそれがない場所、腐食液が付着しない場所に、据付してください。
・屋外送油配管は、鋼製または金属製としてください。
・送油配管は、地震などによりタンクとの結合部分に損傷を与えないように接続してください。可とう管継手の使用、またはループ配管などを行ってください。
・送油配管とタンクとの接続部には、必ずバルブを組込んでください。バルブが付属されていない型式の場合は、別途購入してください。

3. 組み立て方

はじめに

・型式によっては、かなり重いタンクもあります。重量を確認の上、注意して扱ってください。
・軍手など、手袋を着用して扱ってください。
・付属品がすべて揃っているか、確認してください。
・使用する部品は、指定のものを使用してください。正規品以外のものを使用すると、破損、故障、油漏れなどにつながるおそれがあります。

組み立て

①タンク本体へ油量計、通気管、給油口のふたなどを組み付けます。油量計の取付の際、アームの向きは給油口の反対側へ本体と平行になる方向へ付けてください。また、浮き子がタンク壁面に当たらないようにしてください。
②タンク本体へ脚を組み付けます。脚は、タンクを倒して組み付けてください。脚のキャップもはめこみます。
③タンクを所定の場所に据付し、脚と基礎面をアンカーボルトで確実に固定してください。
アンカーボルトは、下記の引抜き強度以上のものを使用してください。

型式	分類記号	アンカーボルト仕様
KS2-500,490, KS1-399 KS2-250 KM2-490 KH2-250	H	埋込式L形　M12×埋込深さ100mm以上
	上記以外のもの	芯棒打込式おねじ形オールアンカーCタイプ　M10×全長80mm以上　埋込深さ65mm以上

④送油口部(図－2のA部)に水抜きアダプターを取付け、その下にストレーナバルブなどを取付けてください。**その際、接続部のおねじ側にテフロンシールテープを巻いてから締め付けてください。**各部の締め付けは、確実に行なってください。(分類記号ごとの送油口取付については、送油口取付部品一覧図を参照してください。)

据付後の確認

①各バルブをしっかり締めてから、油を入れてください。水抜きアダプターの水抜栓のまわしかたは、水抜きアダプター本体の表示を参照してください。
②油を入れた後、各接続部から油漏れがないか、しっかり確認してください。

〈表－1〉

型式	脚型式記号	アンカーボルト位置 A	アンカーボルト位置 B	コンクリート製の寸法例 C	コンクリート製の寸法例 D
KS2-500,490,KS1-399	S,Y,B	740	1340	1480	2260
KS2-500,490	F,M,L	853	1340	1480	2260
KS2-500,490	H	1070	1340	1480	2260
KS2-500,490	Q	532	1340	1480	2260
KS2-500,490	R	558	1340	1480	2260
KS2-500,490	K	926	1340	1480	2260
KS2-490	A	376	1340	1480	2260
KM2-490	S	740	1340	1480	2260
KS2-250	S,T	531	1120	1380	2050
KS2-250	F,M,L	852	1120	1380	2050
KS2-250	Y,Q,B	739	1120	1380	2050
KS2-250	R	381	1120	1380	2050
KS2-250	A	375	1120	1380	2050
KS2-250	P	557	1120	1380	2050
KS2-250	W	407	1120	1380	2050
KS2-250	H	1069	1120	1380	2050
KH2-250	S	442	1340	1380	2050
KH2-250	Q	338	1340	1380	2050

コンクリート製防油堤設置例

＜図－１＞

＜図－２＞